# 中村眞一議員（議会報ダイジェスト）Vol.3
# 一般質問、代表質問 内容

発行日／令和元年７月30日
発行人／眞和会　会長中村平次
〒389-0802　千曲市内川484－1
TEL(026)275-0671　Email:45basie@gmail.com

## 平成30年度施政方針検証
## 産業振興策は

科野の会
代表　中村　眞一

**問　屋代地区スマートＩＣの新設は。**

答　国の準備段階調査に移行する為に設置位置や形状、周辺への影響評価、経済効果、更埴ＩＣとのすみ分け、周辺道路整備等を調査中である。移行は平成30年度以降で概ね１年を経て正式に決定され、整備着手はその後になる。

**問　雨宮産業団地造成事業（大規模物流施設）の農振除外、地権者との交渉状況や認可後のスケジュールは。**

答　計画地約14haは農振農用地であり、農産法（※）で農振除外を進め、県との事前協議に入っており、６月頃には法定協議を終了したい。また地権者役員会のご協力を戴きながら売渡承諾書の取りまとめを進めており、皆様のご理解を戴きつつある。今年10月頃から造成工事に入る計画で、事業開始時期はまだ未定である。

**問　屋代地区土地区画整理事業（大型商業施設誘致）であるが、農産法に基き実施計画策定を以ていつ頃から県との基本計画の策定協議に入れるか。また、基幹水利施設ストックマネジメント事業も農産法を以て開発可能だと思うが。更に２０２０年（東京オリンピック開催年）を目途に農振除外、区画整理組合設立の見込みは。**

答　県では基本計画の策定作業に取り掛っているが、夏以降には県との協議に移りたいと思う。ストックマネジメント事業については、面的整備事業には含まれないので農産法による産業導入地区に含めることは可能だと伺っている。計画地35haは農振農用地ですが、予定通り区画整理の事業化に繋げたいと思う。

**問　国道18号バイパス事業（力石から八幡地区の未着手間）の進捗は。**

答　見通しは立っていないので、早期事業化に向けた要望活動を続ける。

**問　長野広域連合のごみ焼却施設の進捗状況や地権者との用地取得交渉は。**

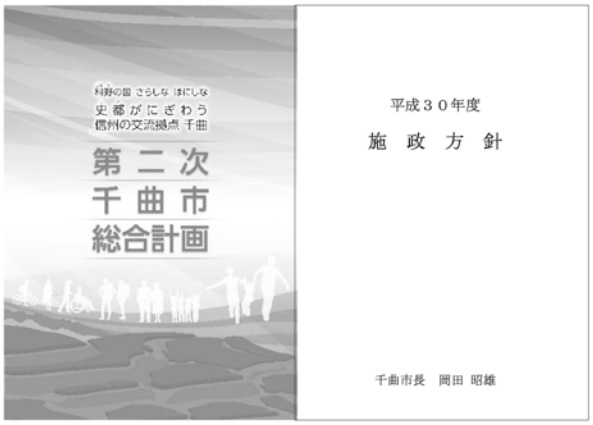
答　昨年12月に施設の整備及び運営事業の優先交渉権者を決定し、契約協議中である。地権者とは昨年５月に全体説明会を開催し、10月には用地測量や補償調査が終了し、地権者対策委員会が設立され、早期の用地取得を目指している。

**問　千曲市３庁舎の跡地利用と新庁舎統合によるスリム化、効率化対策は。**

答　千曲市公共施設等総合管理計画に基き、戸倉庁舎はふれあい福祉センターを移転。上山田庁舎は歴史文化財センターと粟佐分室を移転。そして更埴庁舎は老朽化が激しいので解体。跡地利用は検討中である。また統合による職員数や公用車等のコスト削減及び事務事業の効率化を図ると共に情報セキュリティや防災機能の強化も図る。

**問　市の行政組織の見直しを掲げていますが、専門職の外部招聘（しょうへい）も含め適材適所の人材登用と、権限と責任を明確にし、指示命令系統を分かりやすくすべき。**

答　専門性の高い業務については任期付職員として外部から採用したり、専門知識、経験を有する者を再任用もし、適材適所の人材登用に努めていく。




▲第二次千曲市総合計画と平成30年度施政方針

※農産法・・・「農村地域への産業の導入の促進法に関する法律」
平成29年６月、農村地域工業等導入促進法（農工法）の一部が改正され、農村地域での立地ニーズが高いと見込まれる産業も導入できるように、対象業種の限定を廃止することとして制定。都道府県が策定する基本計画に即して市町村が実施計画に定めるもの。

中村　眞一

## 大型事業の基本方針と進行状況について

**問　屋代地区のスマートＩＣについて。**

答　場所は上信越自動車道の下の市道４２００号線のボックスカルバート（※）を軸に計画している。構造は平面Ｙ字型を検討しており、本線の上り、下り線双方の入退出を上信越道西側に集約し料金所を設け、都市計画道路一重山線への接続を検討している。また、６月には国交省との相談会にも参加し、必要性等を理解していただき次に国直営の準備段階調査にできるだけ早く移行したいと思う。

**問　雨宮産業団地造成事業について。**

答　計画地の14haは農振農用地であることから、農産法実施計画の策定と農業振興地域整備計画の見直しに併せ、区域から除外する手続きを進めている。進出企業側は９月末には地権者との個別説明会を行い、10月下旬までには土地売買契約を締結したいとしている。また、今年度内に許認可手続きを終え２０１９年度から造成工事に着手２０２０年度には建設工事に入り、２０２２年度完了を見込んでいる。

**問　屋代地区土地区画整理事業は。**

答　農産法を使い、８年未経過問題をクリアするのか、との質問であるが、現在開発手法を検討している。また整備計画図案、資金計画案をまとめ、土地区画整理組合設立準備会に提示し、整備手法の決定をしたいと思う。２０２０年度に土地区画整理組合の設立と土地区画整理事業化を目指している。また組合設立までの調査等の費用と道路や公園等の公共施設やスマートＩＣ等の整備なども行政が行うインフラ整備である。

▲24時間運用により利用増につながった姨捨スマートIC

※ボックスカルバート・・・道路本線の下を、別の道路や水路が交差する場所で造られる箱状の物。

**平成30年９月議会**

中村　眞一

## 行政改革と公共施設等総合管理計画は

**問　第４次行政改革大綱の進捗状況は。**

答　新庁舎への移転に伴う支所機能の廃止対策として、住民票等のコンビニ交付事業としてコンビニ３社、22店舗で実施（マイナンバーカード要）。郵便局も７店舗で実施（マイナンバーカード不要）。また、新たな財源確保については「ネーミングライツ」や「クラウドファンディング」に取り組み、「ふるさと納税」についても積極的に推進している。新庁舎移転に伴う組織、人事改革については、検討委員会で協議を重ねて様々な行政ニーズに対応できるよう、調整をしている。

**問　千曲市公共施設等総合管理計画の進捗状況と市民への説明は。**

答　市民説明会を４か所で開催し、財政状況と共に公共施設（１４５施設）を平成27年から30年間で、総量13％削減する目標について説明した。３庁舎の利用方法については、更埴庁舎は取り壊し、上山田庁舎は「歴史文化財センター」を移転、戸倉庁舎は「ふれあい福祉センター」と「老人福祉センター」として活用を図る。また、戸倉と五加コミュニティセンターについては、平成31年３月をもって廃止することで地元と合意した。更級については１年間に限り延長することになった。現在の計画では、10年間ごとに前期、中期、後期として方向性を示しているが、平成32年までに策定予定の個別施設計画をもって具体的な取り組みを示していく。

第４次千曲市行政改革大綱・実施計画

進捗状況報告書

平成３０年１０月
千曲市行政改革推進本部

千曲市公共施設等総合管理計画

庁舎の在り方に関する検討結果について

▶第４次千曲市行政改革大綱・実施計画「進捗状況報告書」、千曲市公共施設等総合管理計画「庁舎の在り方に関する検討結果について」

**平成30年12月議会**